

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 災害時における応援職員の受入れ体制について 【質問趣旨】 令和8年7月28日、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生した。大規模災害が発生すると、自治体には避難所運営、被害調査、罹災証明書の交付、被災者相談など、平時を大きく上回る業務が発生する。また、自治体職員自身が被災し、十分に参集できない可能性もある。 その際、他の自治体から応援職員を受け入れることになるが、派遣元や人数は発災後に調整されるため、平時から「どの業務に、何人の職員が必要となるのか」を整理し、速やかに応援を要請し、到着した職員を直ちに住民支援へ配置できる体制を整えておく	(1) 受援計画の策定状況について (2) 災害業務ごとの必要人数と不足人数の事前算定について	① 本市は、他自治体から人的支援を受け入れるための受援計画を令和8年3月に策定している。計画の対象業務は災害マネジメント、避難所運営、支援物資に係る業務、災害廃棄物の処理、住家の被害認定調査、罹災証明書の交付、被災者支援・相談業務、公共土木施設災害応援対策の8つの業務である。所管部局はどこか伺う。 ② 計画は防災担当課のみで作成したものではなく、福祉、建設、税務、環境、子育てなど、災害時に応援を必要とする各部局が参加して作成したものになっているか伺う。 ③ 災害対策本部が設置される市役所内には各班の職員及び応援職員等の執務スペース設置も計画されている。市役所が被災し、万一使用できないときには消防本部が災害対策本部となるが、その際の各班の執務スペース等の計画はあるか伺う。 ① 避難所運営、住家被害認定調査、罹災証明書の申請受付・交付、被災者相談、高齢者・要支援者の状況確認、災害廃棄物対応など、災害時に業務量が大きく増加する業務を、本市として具体的に整理しているか伺う。 ② それぞれの業務について、受援対象業務全体タイムラインに沿って、発災後24時間、72時間、1週間といった段階ごとに、必要となる職員数と自前で確保できる職員数を事前に把握しているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
ことが極めて重要である。 応援職員を確保すること自体が目的ではない。応援職員の力によって、避難所の運営を滞らせない。被害調査を遅らせない。罹災証明書の交付を待たせない。高齢者や要支援者の状況確認を途切れさせない。被災者が何度も窓口を回らなくて済むようにする。 こうした住民の生活再建を一日でも早く前へ進めるための体制整備が、本市に求められていると考える。 そこで、本市の人的受援体制について見解を伺う。	(3) 応援要請の判断基準と要請ルートについて (4) 応援職員が到着後すぐ働ける受入れ環境について	③ 本市の職員自身やその家族が被災し、予定どおり参集できない場合は部内・庁内で人員調整をするとのことだが、その際どのようにして適材適所を考慮した人員調整を行うのか伺う。 ④ 応援を要請する際、「罹災証明関係で何人」「避難所運営で何人」と、業務内容と具体的な必要人数を示すことができる状態になっているか伺う。 ① 人的応援が必要であると判断する責任者は誰か。市長、防災担当部局、各業務担当部局の役割分担は明確になっているか伺う。 ② 被害の全容が把握できていない段階でも、必要に応じて県等へ早期に相談・要請できる手順となっているか伺う。 ③ 県、相互応援協定の締結自治体、応急対策職員派遣制度など、人的支援を求める複数のルートを整理しているか伺う。 ④ 夜間や休日に発災した場合でも、連絡先と要請手続が機能する状態になっているか伺う。 ① 応援職員が到着しても、机、端末、通信環境、業務指示、宿泊場所がなければ十分に活動できない。応援職員の受入れを全庁的に調整する責任者と担当班を定めているか、また到着時の受付、配置、業務指示の流れは明確になっているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		② 執務スペース、端末、通信環境、庁内システムの利用、車両、駐車場所などを確保する手順はあるか伺う。 ③ 応援職員の宿泊場所について、平時から利用可能な施設をリスト化し、災害時にも実際に使用できるか定期的に確認しているか伺う。 ④ 応援職員が交代する際、業務記録や未処理案件を確実に引き継ぐ様式を準備しているか伺う。
	(5) 相互応援協定の実効性について	① 本市は多くの自治体と災害時相互応援協定を結んでおり、近隣市町のほか、東海環状自動車道沿線都市、東尾張地区（8市町）、六古窯関係（5市町）などがある。そこで協定には人的支援が含まれているか、対象業務、要請方法、連絡窓口、費用負担などが明確になっているか伺う。 ② 協定締結後、担当者の連絡先や派遣可能な職種について定期的に確認しているか伺う。 ③ 協定自治体との情報伝達訓練や、応援職員受入れ訓練を実施したことがあるか伺う。
	(6) 受援訓練と計画の定期的見直しについて	① 本市では、人的応援を要請し、応援職員を受け入れることを想定した訓練を実施しているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		② 実際の訓練には、防災担当課だけでなく、避難所、罹災証明、福祉、災害廃棄物などの担当部局も参加するべきと考えるが見解を伺う。 ③ 「応援職員50人到着する」「庁舎の一部が使用できない」「宿泊施設も被災している」といった具体的な条件を設定した訓練を行う考えはあるか伺う。 ④ 災害発生から受援業務の開始に至るフローをいかに短縮するかが課題と考えるが、どのように取り組むか伺う。 ⑤ 実際の令和8年熊本地震での対応や防災訓練で明らかになった課題を、受援計画へ反映する仕組みがあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。